

大磯まつりに自衛隊ブースを出展 南極の氷体験が大人気



自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 兒玉憲幸1陸尉）は11月8日（土）に開催された「大磯まつり2025」に広報ブースを出展した。会場は多くの来場者でにぎわい、自衛隊ブースでは南極の氷に触れる体験、制服試着体験、採用制度説明などを実施した。南極の氷体験では、「ぼちぼち音がする」と驚く子供たちの笑顔が広がり、家族連れを中心に終日多くの人でにぎわった。

制服試着体験では、子どもから大人までが自衛官の制服に袖を通し、「重みを感じた」「姿勢が正される」「かっこいい」といった感想が聞かれた。採用制度説明コーナーでは、「重みを感じた」「姿勢が正された。採用制度説明コーナーでは、自衛官の仕事内容やキャリアなどについて熱心に質問する来場者の姿もあり、自衛隊を身近に感じてもらう良い機会となった。

当日は衆議院議員の河野太郎氏や大磯町長の池田東一郎氏も来場し、自衛隊ブースを視察。来場者との交流も見られ、会場はいっそうの盛り上がりを見せた。夜にはスカイランタンが夜空を美しく照らした。まつりのフィナーレを幻想的に彩った。

平塚地域事務所は「今後も地域の行事を通じて、自衛隊の活動や役割への理解を深めていただけるよう広報活動が続けていきたい」としている。

